

地域未来交付金（デジタル実装型）の具体的使途や実施体制、効果検証の結果等について

【TYPEA】新座市議会会議映像及び音声認識字幕表示システム導入事業

■事業概要

実施年度	令和8年度
事業概要	新座市議会では、来庁せずに本会議の様子をいつでもどこでも見るができるよう、生中継及び録画配信によりインターネット上で映像を公開している。本会議映像に発言内容をリアルタイムで翻訳した字幕情報を付加し、視聴者側が「字幕あり・なし」を選択できるシステムに更新することで、市議会のバリアフリー化を更に推進する。併せて議場傍聴席に字幕を表示できる設備を整備する。 字幕にはふりがなを付ける仕様を採用することで、高齢者・難聴者・子どもたちにも内容が分かりやすくなり、議会中に万が一聞き逃してしまった場合でも、その場で字幕や映像を簡単に振り返ることが可能となる。このような仕組みを導入することで、幅広い世代の人々が市議会をより身近に感じ、気軽に参加しやすい環境を整備することを目指すものである。
具体サービス	【新座市議会会議映像及び音声認識字幕表示サービス】 ●インターネットを通じて、本会議の映像をいつでもどこでも見るができる（生中継及び録画配信）。 ●本会議インターネット中継において（生中継のみ）、音声認識字幕表示ソフトウェアを活用し、視聴者の操作に応じて、本会議映像にリアルタイムで翻訳された発言内容を字幕付きで視聴することができる。 ●上記の本会議インターネット中継における発言内容の字幕表示は、聴覚障がい者へのバリアフリー化のみならず、音声を出せない環境においても発言内容を視覚的に理解することができる。 ●本会議開催中に発言等を聴き逃した場合には、巻き戻し及び追っかけ再生機能により、映像を数分遡って確認することができ、字幕表示も同時に遡って発言内容を確認することができる。 ●議場の傍聴席においても、音声認識字幕表示ソフトウェアで作成した字幕を表示できるモニターの設置により、リアルタイムで発言内容を理解することができる。

■具体的使途（経費内訳） 単位：千円

交付対象事業費	6,017
項目	金額
LIVE字幕配信初期費用（社内構築費・現地作業費）	550
LIVE字幕配信初期費用（諸経費）	220
字幕発生機器設置工事費用（配線工事・機器設置・機器接続・試験調整費）	990
字幕発生機器設置工事費用（諸経費）	825
インターネット映像配信業務委託（通常配信LIVE、VOD）	1,892
LIVE字幕本会議配信費用	1,540

■実施体制

名称	役割
新座市（議会事務局）	- 事業計画の立案 - 報告書作成をはじめとする事業全般の管理 - 住民への各種アンケートの実施・評価・反映
新座市（情報システム課）	庁舎内ネットワーク及び職員用端末の管理
新座市（管財契約課）	庁舎設備関連
新座市議会会議映像及び音声認識字幕表示システム提供事業者（株）大和速記情報センター）	- システム構築等 - 事業実施に係るノウハウの提供

■効果検証の結果（令和８年度採択事業については、令和９年度以降に公表を予定しています。）

KPI（指標）	単位	目標値（上段）			直近のKPIについて 【「KPI達成」の場合】達成のための取組内容や工夫及び次年度達成に向けた取組 【「KPI未達成又は未計測」の場合】達成（計測）できなかった理由及び次年度達成に向けた取組
		実績値（下段）			
		令和８年度	令和９年度	令和１０年度	
本会議の生中継の 視聴数	回	13,000	26,000	40,000	
傍聴者の会議内容 の理解度	ポイント	3	3.5	4	
各会議の傍聴者の 満足度	ポイント	3	3.5	4	
議会中継視聴者の 満足度	ポイント	3	3.5	4	